

純資産総額1兆円突破！ (2021年1月26日時点)

イノベティブ・フューチャー (愛称)



2021年2月25日

日興アセットマネジメント株式会社

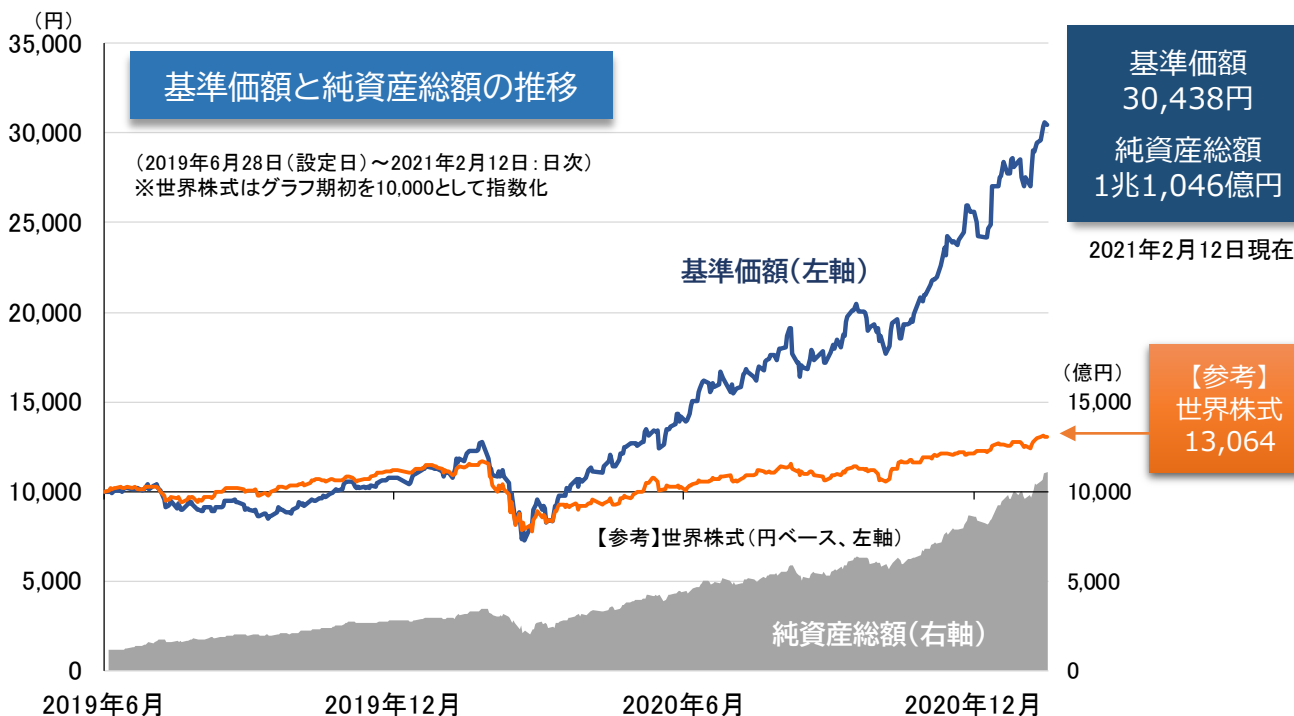
2020年の振り返りと今後の見通し

当ファンドは、イノベーション関連銘柄を主要な投資対象とするファンドとして2019年6月28日に設定されました。設定以降、2020年春のコロナショックなど大きく落ち込む局面が幾度かありましたが、2020年3月下旬以降、主要国・地域の大規模な金融・財政政策などを背景に基準価額は堅調な推移となりました。

こうした結果、当ファンドの純資産総額も1兆円を突破(2021年1月26日時点)するに至りました。

また、当ファンドは、その運用成果が評価され、Morningstar Award “Fund of the Year 2020”において、国際株式型(特定地域)部門で優秀ファンド賞を受賞いたしました。

本資料では、2020年の運用状況を振り返るとともに、今後の見通しなどについてご紹介します。



- 基準価額は信託報酬等(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。世界株式はMSCI ACワールド指数(米ドルベース、トータルリターン)の値です。なお、世界株式は、当ファンドの基準価額の算出方法に合わせ、当ファンドの前営業日の世界株式の値を円換算して算出した値を掲載しています。なお、上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。
- 信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

2020年の投資環境と当ファンドのパフォーマンス

コロナ禍の投資環境下、当ファンドは堅調な推移となりました

2020年2月後半に起きたコロナショックに伴う大幅な株価下落を受け、当ファンドの基準価額は、12,745円(2020年2月21日)から7,233円(同年3月19日)まで、約43%の下落となりました。

その後、経済立て直しをめざし、各国・地域が金融財政政策を打ったことなどから市場が底を打って以来、成長株、特に新型コロナウイルスに直接関与するバイオ関連銘柄や、テレワーク、また、いわゆる巣ごもり需要によって急成長した事業の関連銘柄は大きく値を戻しました。この結果、当ファンドも大幅に上昇し6月初めにはコロナショック前につけた高値を上回りました。

夏以降も、コロナ禍で大きく進んだDX(デジタル・トランスフォーメーション)に関連する銘柄やノーベル化学賞で注目を集めたゲノム編集技術の関連銘柄、新型コロナウイルス向けワクチン関連企業などの株価が堅調に推移したことから、当ファンドの基準価額は上昇基調となり、年間騰落率は約126%(2.26倍)となりました。



- 基準価額は信託報酬等(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。世界株式はMSCI ACワールド指数(米ドルベース、トータルリターン)の値です。なお、世界株式は、当ファンドの基準価額の算出方法に合わせ、当ファンドの前営業日の世界株式の値を円換算して算出した値を掲載しています。なお、上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。
- 信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

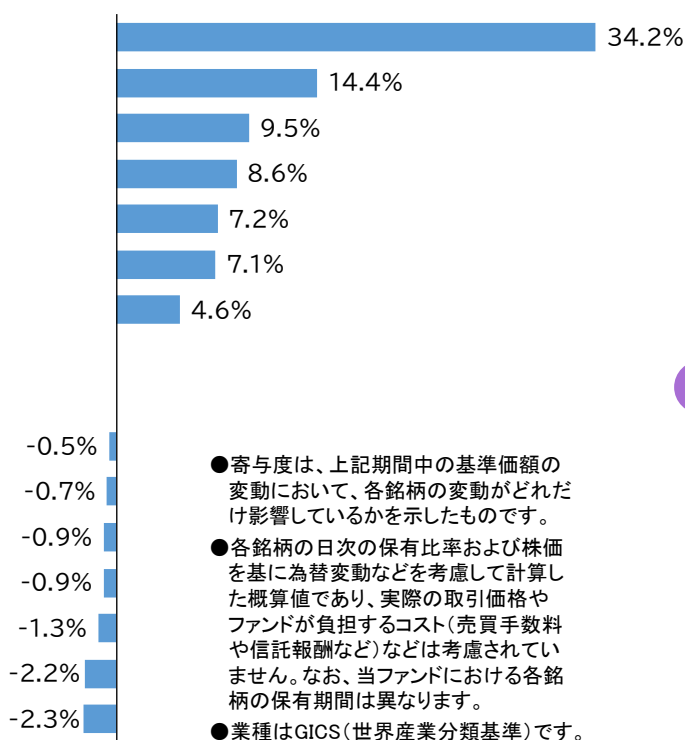
銘柄別パフォーマンス寄与度

2020年 (+125.9%) の分析

個別銘柄のパフォーマンス寄与度からは、当該期間に最もプラス寄与した銘柄であるテスラの寄与(+34.2%)が、全体(+125.9%)の27%程度、同じくスクエアが11%程度を占めていたことがわかります。また、コロナショック時に値下がりの銘柄もその後に回復するなどした結果、マイナスに寄与した銘柄は少数に留まりました。

銘柄別寄与度

(上位/下位、各7銘柄)



- 寄与度は、上記期間中の基準価額の変動において、各銘柄の変動がどれだけ影響しているかを示したものです。
- 各銘柄の日次の保有比率および株価を基に為替変動などを考慮して計算した概算値であり、実際の取引価格やファンドが負担するコスト(売買手数料や信託報酬など)などは考慮されていません。なお、当ファンドにおける各銘柄の保有期間は異なります。
- 業種はGICS(世界産業分類基準)です。

プラス寄与度が上位の銘柄

テスラ/一般消費財・サービス
スクエア/情報技術
ロク/コミュニケーション・サービス
インビテ/ヘルスケア
ジロー・グループ/コミュニケーション・サービス
CRISPRセラピューティクス/ヘルスケア
インテリア・セラピューティクス/ヘルスケア

マイナス寄与度が上位の銘柄

ズーム/情報技術
イベントブライ/コミュニケーション・サービス
ストラタシス/情報技術
テンセント/コミュニケーション・サービス
レンディングツリー/金融
ツイッター/コミュニケーション・サービス
レンディングクラブ/金融

● 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

● 寄与度は、実際の基準価額の騰落に対する寄与度を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

● 上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当ファンドの高パフォーマンスに寄与した銘柄について

次ページ以降で、当該期間の相対的に良好なパフォーマンスに寄与した銘柄群について、当ファンドの主な投資対象である外国投資法人の運用に助言を行なうアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(ARK)からのコメントをもとにご説明します。



銘柄紹介① パフォーマンス寄与度の大きい銘柄

ここでは、2020年の基準価額騰落に寄与した銘柄群についてARKからのコメントをもとにご説明します。



テスラ



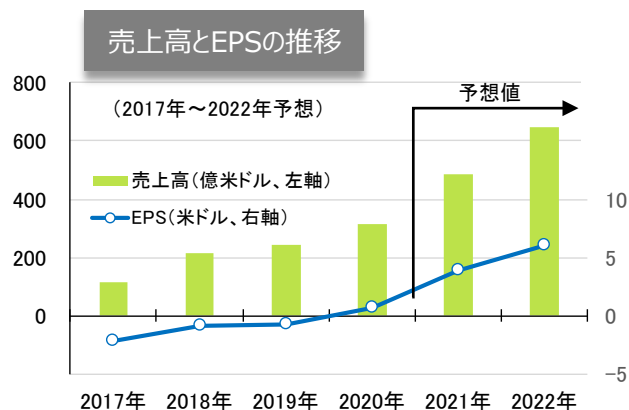
※写真はイメージです

【注目点】

- テスラは、今後3年間で、バッテリーコストを50%以上引き下げるとともに、走行距離を50%伸ばす新型車の構想を発表しました。また、この新型車の価格を現行の最も低価格の車両から10,000米ドル引き下げ、25,000米ドル以下にするとしています。ARKでは、このテスラの計画は、バッテリー構造と生産プロセスの大幅な改善によって可能になると考えています。
- 当ファンドの組入比率のトップは、2020年を通してテスラとなりました(月末ベース)。また、同社の同年の株価騰落率は約743%(約8.4倍)でした(2019年12月末～2020年12月末)。
- テスラの株式は、2020年12月に米S&P500指数に組み入れられました。

世界的な電気自動車メーカーの一角

- ARKは、イノベーションの普及がもたらす銘柄の将来価値と、現在価値(株価)を比較し、投資成果の確信度合いの高い銘柄を選定しており、テスラについて高い期待を持っています。



- 当ファンドの運用期間は2019年6月以降です。なお、当該期間がご紹介銘柄の保有期間と同一であることを示すものではありません。
- 売上高およびEPS(1株当たり純利益)は決算期ベース、また、予想値は2021年2月時点の市場予想値です。

- 当ページの銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。
- ARKからのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 当ページは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

銘柄紹介② パフォーマンス寄与度の大きい銘柄

ここでは、2020年の基準価額騰落に寄与した銘柄群についてARKからのコメントをもとにご説明します。



スクエア



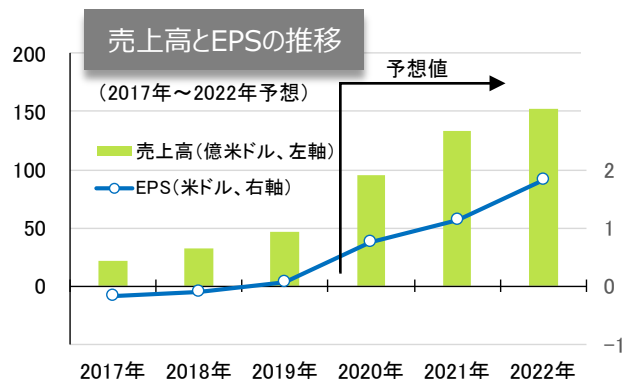
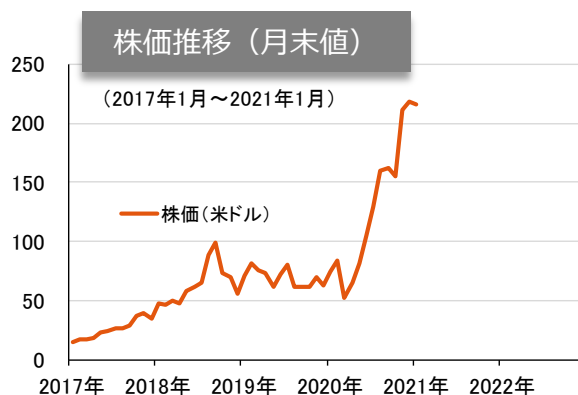
※写真はイメージです

【注目点】

- スマートフォンなどの普及率は年々上昇しており、デジタルウォレットのニーズは今後も高まっていくと予想しています。
- デジタルウォレットの顧客獲得コストが低いことから、年齢や性別、地域や所得を問わず、幅広い層を取り込んでいけるとARKは考えています。
- ARKでは、同社が提供する決済サービス「Cash App」は、銀行などに比べ安価で処理の早いサービスであり、今後も市場でのシェアを高めていくと見込んでいます。また、決済で得たビッグデータを融資やマーケティングなどに活用することで、同社サービスが一層高度化していくと見込んでいます。

中小企業向け決済サービス大手

- スマートフォンやタブレット端末を活用した、初期投資の少ない小型のカードリーダーを提供するほか、融資サービスなども展開。
- 制限付きながら米国の銀行免許を取得。



- 当ファンドの運用期間は2019年6月以降です。なお、当該期間がご紹介銘柄の保有期間と同一であることを示すものではありません。
- 売上高およびEPS(1株当たり純利益)は決算期ベース、また、予想値は2021年2月時点の市場予想値です。

- 当ページの銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。
- ARKからのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 当ページは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

銘柄紹介③ パフォーマンス寄与度の大きい銘柄

ここでは、2020年の基準価額騰落に寄与した銘柄群についてARKからのコメントをもとにご説明します。



□ク



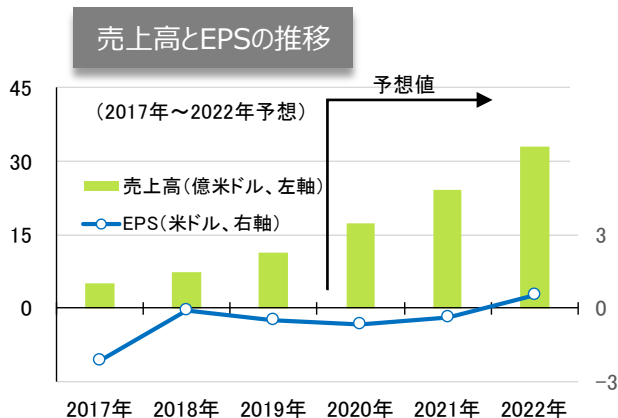
※写真はイメージです

【注目点】

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のために行なわれた行動制限で「巣ごもり需要」が増加し、同社のサービスが注目を集めました。
- 独自の家庭用ビデオストリーミング端末の販売や視聴システムの提供を行なう事業者であり、同社機器の設置数は業界最大手の一角であることから、テレビ視聴用OSのプラットフォームになり得るとARKは考えています。
- 同社のアクティブ・アカウント(稼働会員数)はこの2年間で2,700万人から5,100万人(2018年末と2020年末)に増加しています。この先も、テレビ視聴のスタイルが、ケーブルテレビからストリーミングへシフトしている流れを受け、大きな成長が見込まれます。

ビデオストリーミング市場の主要プレーヤー

- 消費者が手頃な価格でストリーミング視聴するための、一連のハードウェア製品やソフトウェアを提供しています。



- 当ファンドの運用期間は2019年6月以降です。なお、当該期間がご紹介銘柄の保有期間と同一であることを示すものではありません。
- 売上高およびEPS(1株当たり純利益)は決算期ベース、また、予想値は2021年2月時点の市場予想値です。

- 当ページの銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。
- ARKからのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 当ページは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

銘柄紹介④ パフォーマンス寄与度の大きい銘柄

ここでは、2020年の基準価額騰落に寄与した銘柄群についてARKからのコメントをもとにご説明します。



ジロー・グループ



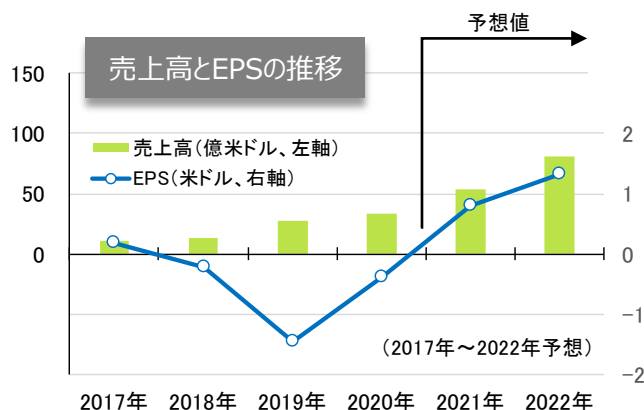
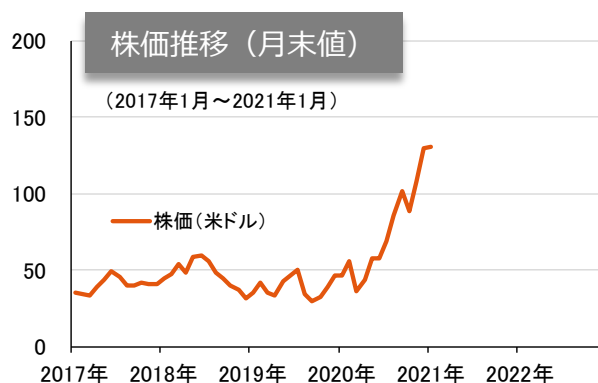
※写真はイメージです

【注目点】

- 一般的に不動産の売買や価格査定などには多大な労力と時間を要しますが、同社サービスは不動産取引にかかる時間やコストを大幅に削減可能であり、同社は不動産取引の次世代プラットフォームとして成長できるとARKは考えています。
- 同社が提供するアプリ「3D Home」では、物件の内装などを360° 閲覧することが可能で、利便性の高さが支持されています。
- また、不動産情報の発信に留まらず、売り手と買い手のマッチングサービスなどを展開しています。

米国で人気のオンライン不動産情報サイトを運営

- オンラインサイトは、直接対面する必要がないだけでなく、情報収集にかかる労力や時間が軽減されるといった様々なメリットが評価されています。



- 当ファンドの運用期間は2019年6月以降です。なお、当該期間がご紹介銘柄の保有期間と同一であることを示すものではありません。
- 売上高およびEPS(1株当たり純利益)は決算期ベース、また、予想値は2021年2月時点の市場予想値です。

- 当ページの銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。
- ARKからのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 当ページは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

銘柄紹介⑤ パフォーマンス寄与度の大きい銘柄

ここでは、2020年の基準価額騰落に寄与した銘柄群についてARKからのコメントをもとにご説明します。



CRISPR セラピューティクス



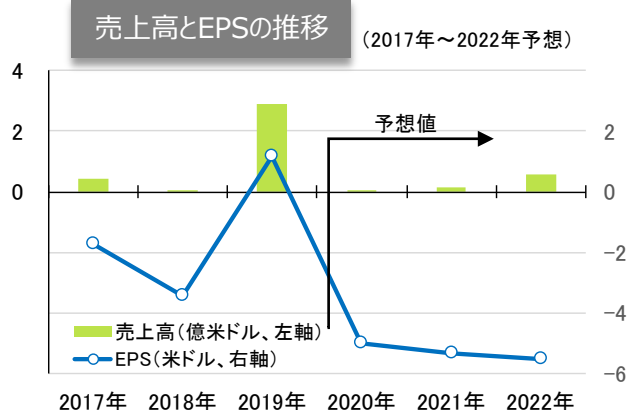
※写真はイメージです

【注目点】

- 同社は、画期的なゲノム編集技術「CRISPR/Cas9」の基礎的ライセンスを保有する3社のうちの1社です。
- ARKでは、迅速な意思決定や高い技術力に加え、血液疾患の研究分野における先駆者としての優位性などから、CRISPR技術を使った患者の体外で行なう遺伝子治療において同社が先行し、業績が拡大すると見込んでいます。
- 2020年のノーベル化学賞には、従来の技術と比べて、大幅に短期間かつ低コストで遺伝子を効率的に改変するゲノム編集技術「CRISPR/Cas9」の主要な開発者の2名が選ばれました。

ゲノム編集技術の基礎的特許を保有する1社

- ARKは「CRISPR/Cas9(クリスパー/キャスナイン)」について早い段階から関心をもっており、同技術のライセンス保有企業に投資を行なっています。



- 当ファンドの運用期間は2019年6月以降です。なお、当該期間がご紹介銘柄の保有期間と同一であることを示すものではありません。
- 売上高およびEPS(1株当たり純利益)は決算期ベース、また、予想値は2021年2月時点の市場予想値です。

- 当ページの銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。
- ARKからのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 当ページは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

2020年を振り返り、ARKが改めてお伝えしたいこと

当ファンドの主要投資対象である外国投資法人の運用に助言を行なう、ARKの見方をお伝えします。

2020年、「イノベティブ・フューチャー」の パフォーマンスは堅調でした

投資家の皆さまへ

新型コロナウイルス感染拡大などにより、不安定な市場環境が続いています。このような中でも、私たちの調査・運用手法に信頼をお寄せいただき、投資を継続していただいたことに感謝いたします。

コロナショック後、新型コロナウイルス感染拡大によって引き起こされた問題を解決する企業の株式は、一般的なバリューストックを大幅に上回る上昇となりました。この現象は、新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに経済が低迷する中で、イノベーションがもたらす「創造的破壊」が金融やエネルギー、工業などの従来型産業を置き換えるのではないかという市場の見方の表れとも言えます。また、米国の消費が、コロナショック前には及ばないものの、回復傾向にあることは、新型コロナウイルス感染拡大という事態にあっても、景気を支える旺盛な消費需要があったことを示唆しています。

実際、2020年の秋にかけ、米国では在庫調整が進んだことから、2021年以降の景気回復が予想以上に強くなると見込まれます。世界的に循環型セクターは設備投資の大幅な減少などにより供給が抑制されており、企業の早急な対応が求められることから、米国に限らずアジアでも景気が持ち直すとみられます。 (続く)



Catherine D. Wood

ARK創業者、CIO/CEO

- 2014年1月にARKを設立する前は12年間大手運用会社にてグローバルテーマ株式運用のCIOとして50億米ドル以上を運用。
- ダボス会議への出席や、2016“Women in Finance, Outstanding Contribution Awarded”、2018“Bloomberg’s Top 50”での選出など、今、業界で最も注目される人物のひとり。

- 当ページは、ARKからのコメントや各種公開情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。また記載した見解は将来変更となる場合があります。

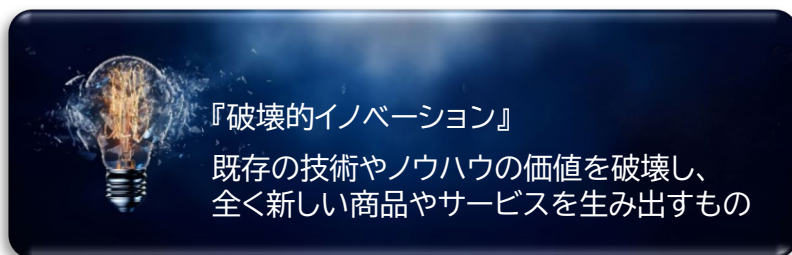
2020年を振り返り、ARKが改めてお伝えしたいこと

コロナショック時、ARKはどう考えていたのか



2020年のコロナショックのような、恐怖や不確実性、疑念と隣り合わせの時代には、企業や消費者は、革新的な製品やサービスを求める傾向にあります。その結果、イノベーションがもたらす新たな市場が生まれ、それが普及・定着していくなかで、それに携わる企業は大きな市場シェアを獲得し急成長できるのです。

私達は、新型ウイルスをきっかけに、ゲノム技術の進化について、再認識することとなりました。2003年のSARS流行時に5ヵ月を要したウイルスのゲノム解析は、今回、解析技術の向上によりわずか数日で解析に成功しました。また、2020年のノーベル化学賞には、従来の技術と比べて、大幅に短期間かつ低コストで遺伝子を効率的に改変するゲノム編集技術「CRISPR/Cas9」の主要な開発者の2名が選ばれるなど、ゲノム解析や編集は、破壊的イノベーションの一つとして今後の成長が期待されています。



DXの進展でイノベーション関連企業の成長は加速すると考えています

コロナ収束後の世界における私たちの生活は、コロナ前に戻ることはないと考えています。それは、コロナ禍で体験したDXに絡むサービスが、大変便利であることを知ったからです。足元、ストリーミングやeコマースなどは急激にユーザー数を増加させてはいますが、既存ビジネスに対する規模は総じて小さく、この先、DXが進展するなかで、こうしたDXに絡むビジネスは高い成長を遂げていくと考えています。

ARKでは足元のDXの急速な進展によって、イノベーション関連企業の成長率も加速し、向こう12年間にわたって、年率20%程度の利益成長が期待できると考えています。これは計算上、利益が6年で3倍、12年で9倍になることを意味します。

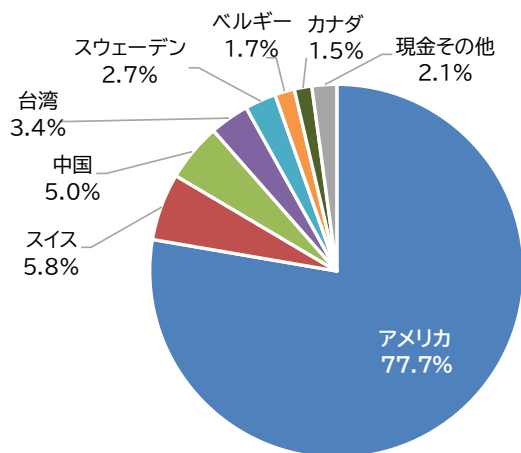
このように、ARKは破壊的イノベーションへの投資において、足元の状況ではなく数年先の姿をみえています。投資家の皆さまには、短期的な値動きに一喜一憂せず、少し先を見据えた中長期の投資対象として、引き続き当ファンドをご愛顧いただければ幸いです。

- 当ページは、ARKからのコメントや各種公開情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。また記載した見解は将来変更となる場合があります。

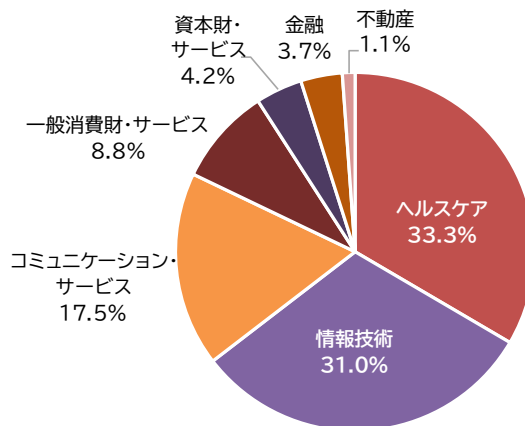
ポートフォリオの状況

2021年1月末現在

国・地域別組入比率



業種別組入比率



※ 記載項目のほかにその他などがある関係で合計が100%とならない場合があります。

組入上位10銘柄

(銘柄数52銘柄)

	銘柄名	通貨	国・地域名	業種	比率
1	Tesla Inc テスラ	米ドル	アメリカ	一般消費財・サービス	8.8%
2	Roku, Inc. Class A ロク	米ドル	アメリカ	コミュニケーション・サービス	6.5%
3	CRISPR Therapeutics AG CRISPRセラピューティクス	米ドル	スイス	ヘルスケア	5.3%
4	Teladoc Health, Inc. テラドック・ヘルス	米ドル	アメリカ	ヘルスケア	5.1%
5	Invitae Corp. インビテ	米ドル	アメリカ	ヘルスケア	4.7%
6	Square, Inc. Class A スクエア	米ドル	アメリカ	情報技術	4.6%
7	Proto Labs, Inc. プロトラブズ	米ドル	アメリカ	資本財・サービス	3.3%
8	Baidu, Inc. Sponsored ADR Class A バイドゥ	米ドル	中国	コミュニケーション・サービス	2.8%
9	Spotify Technology SA スポティファイ・テクノロジー	米ドル	スウェーデン	情報技術	2.7%
10	Pure Storage Inc. Class A ピュア・ストレージ	米ドル	アメリカ	情報技術	2.7%

規模別構成比率

時価総額	比率
超大型株 (500億米ドル以上)	41.4%
大型株 (100億米ドル以上 500億米ドル未満)	21.4%
中型株 (20億米ドル以上 100億米ドル未満)	34.5%
小型株 (20億米ドル未満)	2.4%

※ 記載項目のほかにその他などがある関係で合計が100%とならない場合があります。

※ 上記は、当ファンドの主要投資対象であるルクセンブルグ籍円建外国投資法人「日興AM ARKディスラプティブ・イノベーション・ファンドクラスA」の情報です。また、各種比率は当外国投資法人の純資産総額比です。

※ 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※ 業種はGICS(世界産業分類基準)です。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ファンドの特色

1 主に、世界的の上場株式の中から、破壊的イノベーションを起こし得るビジネスを行なう企業の株式*を実質的な投資対象とします。

* 預託証券を含みます。

- イノベーションの普及度合いや市場での評価は時間と共に変化することから、投資対象とするイノベーションは固定せず、随時見直しを行いません。
- 外貨建資産への投資にあたっては、原則として、為替ヘッジは行ないません。

2 個別銘柄の選定において、アーク社の調査力を活用します。

- イノベーションにフォーカスした調査に強みを持つ、米国のアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー（アーク社）からの助言をもとに、日興アセットマネジメントアメリカズ・インクが当ファンドの主な投資対象であるルクセンブルグ籍円建外国投資法人「日興AM ARKディストラティブ・イノベーション・ファンド クラスA」の運用を行いません。

3 年1回、決算を行いません。

- 毎年5月20日（休業日の場合は翌営業日）を決算日とします。

※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

- 市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行えない場合があります。

お申込みに際しての留意事項①

● リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

- 株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- 新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。
- 公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

【流動性リスク】

- 市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- 新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

（次ページに続く）



お申込みに際しての留意事項②

(前ページから続く)

リスク情報(続き)

【信用リスク】

- 投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト(債務不履行)や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- 公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

【為替変動リスク】

- 外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- 一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

【カントリー・リスク】

- 投資対象国における非常事態など(金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- 一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

●その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。



お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2029年5月21日まで(2019年6月28日設定)
決算日	毎年5月20日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日またはルクセンブルグの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して8営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.3%(税抜3%)以内</u> ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対し年率1.658%(税抜1.58%)程度が実質的な信託報酬となります。 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率0.858%(税抜0.78%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.8%程度となります。
その他の費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社 日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

受託会社 三井住友信託銀行株式会社

販売会社 販売会社については下記にお問い合わせください。

日興アセットマネジメント株式会社
[ホームページ]www.nikkoam.com/
[コールセンター]0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目録見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○		○
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第94号	○	○	○

(50音順、資料作成日現在)

Morningstar Award
“Fund of the Year 2020”

優秀ファンド賞

国際株式型(特定地域)部門

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2020年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。
国際株式型(特定地域)部門は、2020年12月末において当該部門に属するファンド718本の中から選考されました。

Morningstar Award “Fund of the Year 2020”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

nikko am
Nikko Asset Management